

## 高専生が迷子保護



感謝状を贈られた増森さん

### 大分南署が感謝状

大分南署は31日、自  
宅を1人で出てしま  
い、迷子になった4歳  
の男児を保護したと  
して、大分工業高専1年  
の増森涼太さん(15)に  
感謝状を贈った。  
同署によると、5月  
10日午後6時半ごろ、  
下校中の増森さんが歩  
道を1人で走っていた  
男児を見つけた。男児  
の様子がおかしかった  
ことから、「大丈夫？  
家に帰られる？」と声  
をかけた。男児は当初、  
「うん」と答えたが、  
話を続けるうちに「家  
に合わせて1時間近  
くかけて連れて行っ  
た。男児を不安にさせ  
ないよう、ずっと会話  
を続けたという。  
増森さんは「事故に

歩調合わせ  
会話を続け

### 1時間寄り添う

がどこか分からない」  
と言ったため、迷子だ  
と分かった。  
その後、スマートフ  
ォンで近くの交番を探  
して、男児の歩くスピー  
ドに合わせて1時間近  
くかけて連れて行っ  
た。男児を不安にさせ  
ないよう、ずっと会話  
を続けたという。  
増森さんは「事故に  
遭ったり誘拐されたり  
しないか心配だった。  
保護者と連絡がつき、  
無事に帰ることができ  
て安心した」と笑顔で  
話した。【辻本知大】